

横越

第 22 号

平成28年10月1日
(2016)

コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 025-385-2111



横雲荘指定管理から二年 目様々な課題解決に頑張ります

横越コミュニティ協議会

会長 本間 一人

昨年から指定管理を行っている横雲荘は、完成してから二十八年が経ち老朽化が進み、特にメーソンの風呂が傷んできました。お湯漏れが発生し、少しずつ修繕をしているもの



自然豊かな阿賀野川

解決には至っていません。完全に修繕をしたいのですが、修繕費と時間が必要で、利用者に迷惑のかわらないように冬場を向かえる前に完了したいと思っています。

コミ協の目標として取り組んでいる子供の居場所づくりについては、保健センターの利用が実現すれば狭隘と老朽化で気の毒な中学校隣のひまわりクラブから入っていたら、児童の安全と保護者の安心を確保していきたいと思っています。

そして若者支援、婚活について、今まで同様に合コンや個人的にも相談に対応しますので、横雲荘に連絡をいただきたいと思います。今年の合コンそば打ちの日程は、十一月十三日(日)を予定していますので、大勢ご参加下さいませようお待ち申し上げます。詳しい内容は後日お知らせします。

コミ協で地域の茶の間の支援を行っています。高齢者の皆様は毎月横雲荘で楽しいひとときを過ごされ充実した日々を送られています。送迎バスの老朽化等による来年度の運行が心配されます。利用者の迷惑にならないよう足を確保し、安心しておいでいただくよう区役所とも協議を行っているところです。

また、中学生との連携事業として、今年も八月五日に中学生三十七名と小中学校の教職員やコミ協の役員から参加してもらいピカピカ大作戦を行いました。横越地内の道路沿いの



地域の茶の間 (横雲荘)

街灯の清掃を行い、お昼には横雲荘で茶の間のスタッフの皆さんからカレーライスを作って頂き、美味しく食べ世代間の交流もできたと思っています。

ピカピカ大作戦に参加した中学生に感想をお願いしたところ、四名の生徒から快く投稿頂きましたので、後段で紹介いたします。地域の美化活動、そして地域づくりに子ども達と大人が協働してやれたことが何よりの成果と思っています。こうした取り組みで郷土愛が育ち、素晴らしい地域が出来ることを切に願っています。

これからも世代間交流を行い、児童、生徒の意見も聞きながら、横越の地域づくりに努めてまいります。

コミ協事業報告

副会長 佐藤 正明

横越コミュニティ協議会では横越地区の自治会・町内会や社会福祉協議会、日本赤十字の窓口となって活動を行っています。また、地域の活性化や交流を深めるため様々な事業を行っています。

今年度も、六月五日に「第三回嫁入り船復活プロジェクト」を実施しました。地元の若い花婿花嫁さんを見ようと大勢の見物客や子供たちが訪れ、皆さんから祝福されていました。また、写真コンテストでは地元二本木の方がみごとに大賞を受賞されました。



小阿賀花嫁大賞
「幸せの船出」西脇和夫さん

八月の酷暑の中、中学生三十七名と小中学校の教職員やコミ協役員で、第二回「横雲通りピカピカ大作戦」を実施しました。清掃作業終了後、お茶の間のスタッフの皆様からカレーライスを作っていたいただき、食べながら交流を行いました。秋には、そば打ち合コンや福祉そば打ちを実施する予定です。



高齢者の足「福祉バス」

昨年度より老人福祉センター横雲荘の指定管理を行っており、多くの方々から利用していただいております。来年度から福祉バスの廃止が予定されており、今後の交通手段について検討が必要です。

また、小学生のひまわりクラブが手狭になっており、健康センターの利用について要望がありますので、関係機関と協議を行っております。



横越保健センター

色々な地域の課題について対処していきますので、コミュニティ協議会にご相談やご意見をお寄せくださる様お願いいたします。

ピカピカ大作戦に参加して

横越中学校 池田 望夢

僕は、ピカピカ大作戦に参加してとてもよかったです。理由としては、自分の住む環境がきれいになったからです。自分の住む環境が汚れていれば、気分もよくありません。でも、ピカピカ大作戦に参加した全員が、一生懸命に清掃したおかげで環境も気分もよくなりました。

ぜひ来年も参加したいです。

横越中学校 関根 大生

僕は、ピカピカ大作戦に参加して、とても快い気持ちになりました。バスケットボール部の参加が決定したときは、「うれしい」とは思いませんでしたが、そのときの自分はそんな感情の欠片もなく、街灯を雑巾でふくたびに、自分も掃除されるようでした。

このような行事に積極的に取り組み、清潔な横越を保つていくことが、なにより横越の地域に貢献できることだと考えました。



横越中学校 青木 大和

僕は、ピカピカ大作戦に参加して、大きなやりがいを感じることができました。なぜなら、登下校時に見る街灯はとっても汚かったからです。ですが、この街灯を掃除することによって地域に貢献できるなどと思い、一生懸命掃除をしました。きれいな街灯を見ると、掃除のやりがいと達成感がとっても大きかったです。これからはボランティア活動に積極的に参加し、人々に貢献できるようにしたいです。

横越中学校 由野 滯

私は、ピカピカ大作戦に昨年と今年参加しました。昨年私は、初めて地域をきれいにする活動に参加して、たくさん街灯を掃除しました。昨年はとてもきれいにすることができたので、今年も、昨年の経験を生かしみんなできれいにすることができました。

私は、地域のみなさんが気持ちよく生活することに貢献できたらうれしく思います。

「Comicafe」開始！ ご来店をお待ちしています！

教育文化部 坪谷さゆり



Comicafe (横雲荘)

横越コミュニティ協議会が「Comicafe」（コミカフェ）を開設しました。指定管理を行っている横雲荘の旧ラッコルームを利用して、子供たちからお年寄りの方までどなたでもご利用できます。地域の皆様の憩いの場のひとつになればと思っています。

初回は準備に手間取り、皆様にうまくお知らせすることができませんでしたが、二回目は、九月二十五日の日曜日に「手作り石鹸体験コーナー」を設けました。参加していただいた方から、とても楽しんでもらったようです。

不定期な開催ですが、今後もたくさんの方から来ていただければように工夫していきますので是非お越しください。

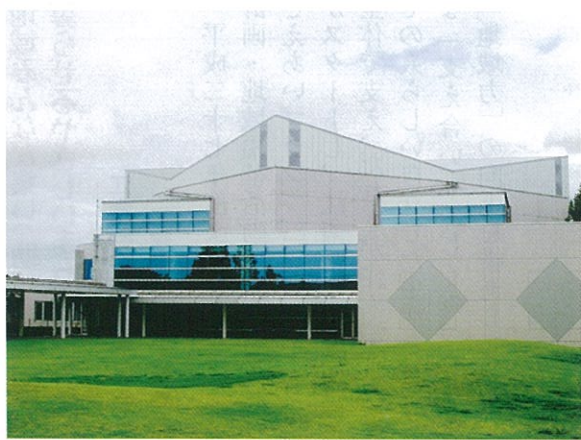
区長懇談会に参加して

健康福祉部会 本間 儀徳

始めまして、今年より横越地区民生委員・児童委員協議会より横越コミュニティ協議会の役員になった本間です。よろしく願います。

日頃は皆様方からは横越コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝いたします。

さて、区長懇談会が八月十日に横越出張所コミュニティルームで開催されました。行政側からは区長、副区長と課長等が出席され、数項目の地域課題について質問と回答が行われました。その中で、参加者より「阿賀野川堤防決壊時の避難所について、横越総合体育館が避難所になっているが、浸水時には利用できない事になっている。全体的に避難所が不足すると思われるが



横越総合体育館

その対処はどのようにするのか」という質問に対して区長は、避難指示等が発令され避難所へ行かなければならなくなった時に、避難所の不足が生じた場合、避難所として指定されていない江南区役所横越出張所等の利用可能な公的施設は臨機応変に対応する。また、同体育館も利用可能なスペースがあれば対応していくという回答がありました。

昨今の異常気象による暴風雨等の影響で土砂崩れや堤防の決壊・浸水被害等が全国各地で頻繁に発生しています。そこで、私たちは常日頃から避難情報等（避難準備情報・避難勧告・避難指示）に注意して日常生活をすごしたいものです。

阿賀野川のひかりとかげ

会長 本間 一人

横越出張所の玄関脇には悠々と流れる阿賀野川という書き出しの碑があり、中学校の応援歌には阿賀野の水に湯浴みしてとか、私達の地域には大河、阿賀野川に親しみを込めた歌があり、食では鮭やマス、鮎に蟹、八目うなぎと数え切れません。今ではすっかり石油文明にとって変わった燃料の供給源でもあった川木（流木）、葦は冬囲いや壁材にそして焚き物等にと豊穡そのものでした。

しかし、ひかりに対しかげの部分もあります。それは公害。阿賀野川上流部には鉾山があり、鉾毒をたれ流して

いた時代がありました。明治時代はその意識も知識もなかったのかも知れません。

先日横越小学校のウエルカム参観日に、阿賀野川物語という取り組みをみせてもらいました。様々な角度から勉強し、その成果を発表したり、有機水銀中毒（水俣病）のことを勉強し熊本県水俣市に生徒を派遣する等環境教育にも力を入れていることがよく分かりました。教室では、阿賀野川流域で起こった水俣病をめぐる、認定患者に対する差別や偏見について、それぞれがその立場になったらどうすべきか自問、自答し、公害に限らず日常生活においても相手の立場を尊重し合うことが話し合われていました。



そして、新潟水俣病の語り部さんによる講話があり、認定患者に対する偏見、差別と戦いながら公式認定から五十年の歲月の中、苦しみもがき、地域も、行政からも理解してもらえた今日、自分自身が強くなって、地域の分断から開放された、これも一緒に戦ってくれた多くの人々がいたからで、ありがたいとのことでした。

合掌

横越総合体育館 除草作業実施

まちづくり部会 長谷部一裕

毎年地域貢献活動を横越建設業協会「横雲会」から実施していただいています。今年七月二十九日に、横越総合体育館の除草作業を行いました。大変暑い日でしたが、「横雲会」の会員二十八名が汗だくになりながら作業を行いました。御陰様で大変きれいになり、来館者から喜ばれました。

今後とも皆様からご意見をいただき、住民バスなど住民の交通手段や交通安全対策など住みよい、生活しやすい環境整備のため取り組んでいきます。



除草作業（横越総合体育館）

地域みんなが集い、助けあい、安心して暮らせるやさしいまちに向けて

江南区社会福祉協議会

事務局長 小林 淑人

平成二十七年より「江南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（ふれあい・ささえあいプラン）二〇一五～二〇二〇」がスタートし、江南区の地域住民を地域全体で支え、だれもが住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活を送れるような「支え合い」のしくみづくり並びに「地域力」の向上を推進しています。



その計画のなかで、横越地区においては、横越コミュニティ協議会の皆様からご協力いただき定めた、地区別目標「地域みんなが集い、助けあい、安心して暮らせるやさしいまち」に向けて、地域の茶の間や子育てサロンなどの地域福祉活動が着実に進められています。

江南区社会福祉協議会では、コミュニティの特色や地域性に応じた住民の主体的な福祉活動が展開されるような地域づくりを進めるとともに、地域包括ケアシステムの構築・推進を図るなど、横越地区の皆様と一緒に汗をかいていきますので、ご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年度 横越コミュニティ協議会 委員名簿

役職等	氏名	部会	所属団体等	役職等	氏名	部会	所属団体等
会長	本間 一人		横越地区文化協会	監事	今井 護	健康福祉	二本木自治会
副会長	佐藤 正明	教育文化	木津自治会	監事	高橋 博	まちづくり	沢海区会
副会長	田村 唯次	健康福祉	横越スポーツ振興会	運営委員	石山 晶	健康福祉	横越新田自治会
運営委員	石井久以知	まちづくり	横越商工会	運営委員	熊木 惣衛	まちづくり	横越美浦交流協会
運営委員	宇野 雅英	まちづくり	木津自治会	運営委員	小林 稔	教育文化	藤山・駒込・うぐいす自治会
運営委員	小野塚智恵子	教育文化	横越中学校父母と教師の会	運営委員	小舟戸啓吾	まちづくり	小杉自治会
運営委員	斎藤 龍夫	教育文化	横越新田自治会	運営委員	佐藤 正男	教育文化	小杉自治会
運営委員	渋谷 剛	教育文化	二本木自治会	運営委員	高橋達一郎	まちづくり	横越東町自治会
運営委員	田村 茂栄	まちづくり	藤山・駒込・うぐいす自治会	運営委員	谷 高行	健康福祉	横雲ニュータウン自治会
運営委員	坪谷さゆり	教育文化	公募委員	運営委員	中村 吉作	まちづくり	横越上町自治会
運営委員	長谷部一裕	まちづくり	横越異業種交流会	運営委員	中村 淳一	健康福祉	老人クラブ連合会横越地区協議会
運営委員	本田 哲夫	健康福祉	川根谷内自治会	運営委員	中村 正孝	教育文化	沢海区会
運営委員	本間 儀徳	健康福祉	横越地区民生委員児童委員協議会	運営委員	松本 里志	教育文化	茜ヶ丘自治会
運営委員	山本 美幸	健康福祉	NPOえんではよこごし	運営委員	目黒 幸子	健康福祉	横越連合婦人会
運営委員	渡部 直子	教育文化	横越小学校 PTA	運営委員	米木 昭衛	健康福祉	横越東町自治会
相談役	神田 勝郎		前横越コミュニティ協議会長				